

いわて便り

No.2

2016年7月14日発行

7月号

日本生協連
組合員活動部

ふれあいサロンでは、仮設から転居される方も増え、仮設と仮設が集約されたりと忙しい中、みなさんサロンを楽しみに元気に参加し、手芸や運動をしています。全国のみなさまからお菓子などの支援をいただいています。ありがとうございます。



ふれあいサロン

毎月60回開催しています

<宮古：二中仮設>



笑いヨガで「ワッハッハ！」

<花巻発：小鉾第6仮設>



ちらし寿司を作ってみんなでご飯♪

<宮古：グリーンピア仮設>



肩たたきでリフレッシュ！

<盛岡発：大船渡鳥沢仮設>



縫い物大好き！
手芸キットは内陸の組合員
ボランティアからも届きます

<北上発：大槌町安渡仮設>

安渡仮設住宅のすぐ隣には立派な公民館が2017年春の完成をめざして工事中ですが、宅地造成工事はまだ続いています。「あの高台に2年後、みんなと一緒に移るんだよ。『おーい』といえば『おーい』と返事が返ってくる、そんな隣近所ができるんだ」と嵩上げされたところを指してお話ししてくださいました。



ストレッチで健康第一！



バスボランティア

6月14日(火)は、大槌町の菜の花プロジェクトでコスモスの種まきを行いました。10月に開催される「2016 希望郷いわて国体」の参加者に見てもらえるよう河川敷をコスモスの花でいっぱいにと取り組んでいます。到着した頃は雨もパラつきましたが、活動を始める頃には雨も上がり予定していた作業も終了しました。



知っていますか？ 住宅再建未定 岩手県で 925 世帯

2016年6月10日の河北新報によると、東日本大震災に伴う仮設住宅の入居世帯のうち、岩手県で925世帯が退去後の居住先が決まっていません。こうした現状から、仮設供与機関の延長措置について、釜石、大船渡、陸前高田、山田、大槌の5市町が2018年夏まで1年間一律延長し、宮古市は2018年夏まで特定延長します。

河北新報(2016/6/10): http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201606/20160610_73010.html

<岩手の仮設住宅情報>

2018年でも1,250戸の仮設住宅が残っている計画であり、まだまだ復興応援が必要です。

宮古市 2018年度中に全仮設撤去

大槌町 2018年度末までに48仮設団地を12仮設団地に集約

大船渡市 2017年度末までに9団地288戸、18年度末に3団地257戸に集約

陸前高田市 47団地1,408戸を18年度末までに19団地998戸以下に集約

サロンボランティアの声

「ふれあいサロン」は組合員ボランティアが仮設住宅集会所などに伺って開催しています。内陸地域からは、2時間以上かけてバスで被災地に通っています。そんな活動をされているボランティアさんたちの声を紹介します。

月に1度のサロンを楽しみにしている様子が嬉しかったです。家を建てた方、公営住宅に住む予定の方、まだ仮設暮らしが続く方などそれぞれですが、明るい表情で安心しました。
(陸前高田市サンビレッジ仮設)

仮設は転居された方が思った以上に多くて、空室が多く1棟5・6世帯が入居可能な仮設に1世帯だけの所が多かった。夜の防犯は大丈夫かなと気になった。住んでいる方々は、淋しくなったとか食料品店が1軒だけで、これからは移動販売を利用するしかないと話されていた。
(宮古市グリーンピアグランド仮設)

今月でお別れするサロン。参加されている方が「お別れ会」を開いて下さいました。本当に嬉しかったです。寄せ書きをいただき、釜石ラーメンをご馳走になり、「また、逢いましょうね」と約束をして帰ってきました。

※盛岡発釜石行のサロンは6月で終了になりました。
(釜石市洞泉雇用促進住宅)



参加されたみなさんからのサプライズプレゼントの寄せ書きです♪
悲しいけれど、とても嬉しかったです。

発行

日本生協連 組織推進本部 組合員活動部
電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

小池、住吉